

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	景観形成誘導事業	コード	151102
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 建設水道部	課等 都市計画課	作成者 高橋 一博
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政策	都市空間の充実	施策	良好な都市景観の保存と創造
		予算科目	景観形成推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	景観法第4条、第16条 屋外広告物法第4条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	本市の優れた景観資源を活かし、個性ある景観を保全・育成し、市民、事業者と共に景観づくりを行う。			
目的	対象者	市民、事業者		
	意図	景観形成		

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
		<ul style="list-style-type: none"> ・県の景観条例による大規模行為に関する届出を11件受理し、工事内容を確認した上で、県に進達した。 ・県の屋外広告物条例により許可区域内の広告物について24件の許可（更新15件、新規9件）を行った。 ・屋外広告物適正旬間において関係団体と違反パトロールを実施した。 		
前年度の課題への対応	岡谷市景観計画（案）については、機運の成熟を待つこととした。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	違反パトロール数			単位	件
	実績値	1	1	1	
	*指標の説明	違反パトロール数			
② 成果指標（指標名）	景観の保全・誘導数			単位	件
	目標値	10	4	8	
	実績値	4	8	11	
	達成度	40.0%	200.0%	137.5%	
	*指標の説明	景観計画区域内における大規模行為の届出件数			
*目標値の設定方法の説明	前年度の実績から設定				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	213,000	339,000	255,000	210,000
経常経費	213,000	339,000	255,000	210,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	720,000	400,000	480,000	480,000
正規職員の人数(人)	0.09	0.05	0.06	0.06
③ 合計コスト(①+②)	933,000	739,000	735,000	690,000
前年度比		79.2%	99.5%	93.9%
財源	933,000	739,000	735,000	690,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	933,000	739,000	735,000	
前年度比		79.2%	99.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額 0 割合 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	137.5%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	
成果指標の目標値 達成度	137.5%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 違反屋外広告物については、違反パトロール等により、その件数が激減している良好な状態であるため、これを維持する必要がある。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 年1回の違反パトロールの他、完了検査等により市内に出た際には、違反広告物がないかについても注意を向ける。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---